

	I期（4月～5月）	II期（6月～8月）	III期（9月～10月）	IV期（11月～12月）	V期（1月～3月）
子どもの姿と育てたい側面	○年長児になったことの喜びや期待が見られ、年中児からのつながりのある友だちと一緒に遊ぼうとする。中には緊張感や不安感を持つ子どももいるため、一人ひとりの心に添った援助をしつつ、年長児としての自覚を育てていきたい。 ○戸外で活動する事を好み、いろいろな運動や遊びをする。進んで体を動かす心地良さを味わい、友だちとのつながりを深めていきたい。 ○身近な自然や動植物に親しみを持たせたい。 ○年下の子どもの世話をしようとする姿を大切に、年下の子どもへのかかわりや、自分が頼られる喜びを味わわせたい。	○言語理解力が増し、自分から進んでやってみようとする意気込みが感じられる。環境からの刺激を取り入れて、新しいことに挑む意欲を育てていきたい。 ○友だちとかかわって遊びを進めようとする気持ちが強くなるが、互いに主張がぶつかったり、考えが伝わらなかつたりして十分に楽しめない状態が見られる。気持ちを汲み取りながら伝え方や相手の思いに気付き、受け止める大切さを育てていきたい。 ○身の回りの自然事象に対して興味や関心が高まり、友だちと一緒によく見たり考えたりする様子が見られる。自然体験、直接体験を豊かにし、自ら考えようとする気持ちを育てたい。	○力いっぱい体を動かすことを好み、自分なりの課題を持って頑張ろうとする気持ちが高まっている。また、友だちと共通の目的を持って何かをやり遂げようとする姿が見られる。運動会の活動を通して、進んで物事に取り組む意欲と達成感を育みたい。 ○生活経験が広がると同時に友だち同士の会話が盛んになり、言葉の表現が豊かになる。自分が話すだけでなく、人の話を聞く態度を育てたい。 ○好奇心や探究心を持って、自然とかかわる体験を通して、自然の変化などを感じ取る。	○遊びの内容が豊かになり、また、友だちの思いや考えを受け入れようとする姿が見られる。共通の目的を持ってグループの友だちと考えたり工夫したりすることを楽しむ。みんなで取り組む喜びと、協力してやり遂げる充実感を味わわせたい。 ○知的好奇心や探求心が高まり、様々なことに積極的にかかわろうとする姿が多くなる。思ったこと、感じたことを表現する意欲やイメージを実現する楽しさ、自然にかかわって感動する気持ち、知識を獲得する喜びを十分に味わわせたい。 ○良いこと、悪いことを、自分で考え判断できるようにしていきたい。	○就学に期待を持ちながら自分たちの遊びを十分に楽しみ年長らしい積極的な行動が取れるようになっていく。友だちとのつながりや生活を共にする喜びを十分に味わわせ、自覚と自信のある行動が取れるようにしたい。 ○生活や活動の見通しがつくようになる。また、物事に積極的に取り組み、交流が深まる。友だちと相談したり工夫したりして活動を発展させるようになる。この中で互いを認め、助け合いながら自分たちで主体的に生活を進めようとする態度を育みたい。
ねらい	○新しい生活や環境に慣れ、友だちとの遊びや生活を楽しむ。 ○年長児としての自覚を持ち、保育者や友だちと一緒に張り切って生活する。	○友だちとのつながりを深め、互いの思いを伝え合いながら遊びを進める。 ○自然や身近な環境に触れ、見たり考えたりして遊ぶ。 ○自分の力を十分に発揮して運動や遊びに取り組む。	○戸外で体を十分に動かし、友だちと一緒に遊びや生活を進める楽しさを味わう。 ○身近な自然や事象に接し見たり考えたりして、感動を味わう。 ○感じたこと、考えたことを様々な方法で表現する。	○遊びや生活の中で、共通の目的を見い出し、工夫しながら活動に取り組む。 ○自分たちで考えたことを遊びの中で実現したり表現したりする楽しさを味わう。	○それぞれが自分らしさを大切にしながら、協力して遊びや生活を進めていく充実感を味わう。 ○友だちといろいろな活動に楽しんで取り組みながら、自分の思いや感じたことを豊かに表現し合い、互いの成長を喜び認め合う。 ○友だちや身近な人々と心を通わせ、感謝の気持ちを持つ。
指導内容の視点	○戸外の自然に接し、美しさや季節の変化に興味を持つ。 ○自然物を利用して遊ぶことを楽しむ。 ○保育者や友だちの話に注意して聞き、内容を理解する。 ○自分の気持ちを相手にわかるように言葉で伝えようとする。 ○いろいろな素材の性質を生かして、イメージに合わせて作るうとする。 ○感じたことを自由に描く、作るなどで表現を楽しむ。 ○友だちと過ごす楽しさを味わう。 ○絵本や物語などに親しみながら言葉や文字に興味を持つ。 ○生活の中で数量・図形・位置・時間に興味を持つ ○異年齢とかかわりの中で年下の子どもたちに親しみを持つ。 ○人の役に立つ喜びを味わう。 ○園生活での決まりを確認し、進んで守る。 ○友だちと楽しく生活する中で、決まりの大切さに気付く。 ○園生活の流れが分かり、1日のおおまかな予定を理解する。 ○新しい場や年長児としての生活の仕方や習慣を身につける。 ○戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○友だちと一緒に歌ったり、身体表現をしたりすることを楽しむ。 ○安心、安全に過ごすための約束事を知り、守ろうとする。	○自分なりに目的を持ち、試したり挑戦したりする。 ○自分の言いたいことをわかるように話すとともに、友だちの話すことにも関心を持つ。 ○見たこと、考えたことを、いろいろな材料を使って、工夫して表現する。 ○絵本や物語などに親しみ興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。 ○友だちと意見や感情の行き違いを経験する中で、自分と異なる考えがあることに気付いたり、自分の思いを伝えたりする。その上で言葉による伝え合いを楽しむ。 ○生活に必要な決まりを自分たちで考え、理解して行動する。 ○公共の場でのマナーを理解して社会とのつながりを意識するようになる。 ○自分から気付いて、汗の始末や衣服の調節をする。 ○健康な食習慣について知り、いろいろな食材に興味を持つ。 ○遊びや生活の中で数量・図形・標識、文字などに親しむ体験を重ね、自ら活用し興味や関心、感覚を持つようになる。 ○いろいろな運動に興味を広げ、十分に体を動かし、ルールのある遊びにも進んで参加する。 ○プールでの約束事を確認し、自主的に安全に遊ぶようとする態度を育てる。	○身近な動植物に触れ、遊んだり観察したりして興味を持って親しむ。 ○友だちと役割を分担し、力を合わせて、遊びや生活を進める。 ○体験し感じたことを言葉で表現することを楽しむ。 ○自分の思ったことや考えたことを相手に伝えて遊ぶ。 ○遊びに必要なものを、適切な材料を考えて使い、工夫して作ったり飾ったりすることを楽しむ。 ○友だちと十分にかかわり、自分たちで遊びを進めていく。 ○友だちとの関わりの中で、相手の気持ちに気付き受け入れる。 ○互いの良さを認め合いながら、意欲的に生活や遊びを進める。 ○友だちに共感しながら遊びを進める。 ○道具や用具の使い方を理解し、安全に使う。 ○ルールを守って生活する事の気持ち良さを知る。 ○園生活の流れを知り、見通しを持って行動する。 ○生活の中で数量・図形・標識、文字などに関心を持つ。 ○健康な食習慣について知り、いろいろな食材に興味を持つ。 ○いろいろな運動に興味を持ち、進んで行なう。 ○友だちと積極的に体を動かす活動に取り組む充実感を味わう。	○身近な自然事象に興味を持ち、生長や変化に気付いたり、自然物を生活に取り入れて楽しんだりする。 ○生活の中の言葉や文字・記号に関心を持つ。 ○イメージしたものを形に表現することを楽しむ。 ○自分のイメージを実現するための方法やそのために必要な素材を自分なりに考えたり見通しを持ったりして遊ぶ。 ○遊びの進め方を友だちと話し合い、協力したり決まりを守ったりして遊びに取り組む。 ○自分の生活にかかわる人々に関心や親しみを持つ。 ○自分たちで遊びの場を整え、物を大切に丁寧な扱う。 ○園生活の流れを知り、生活に見通しを持って自発的に行動する。 ○健康な食習慣について知り、いろいろな食材に興味を持つ。 ○生活の中で数を数えたり、足したり、引いたりしてみる。 ○戸外遊びに意欲的に取り組み、友だちと一緒に遊びを発展させる。	○冬の身近な事象に関心を持ち、それを取り入れて遊んだり、動植物の様子から春の訪れに気付いたりする。 ○考えたことや感じたことを相手にわかるように話す。また、相手の話の内容を理解し、注意して聞く。 ○イメージしたものを形に表現することを楽しむ。 ○材料や用具を目的に合わせて選び、のびのびと表現し、作品を大切に扱うと共に友だちの表現にも関心を持つ。 ○自分たちでルールを決めたり、遊び方を考えたりしてみんな楽しむ。 ○友だちの中で役割を受け持ち、目的を持って遊びや生活を進める。 ○生活を共にしてきた友だちや異年齢児、身近な人々と心を通わせ大きくなった喜びを味わい感謝の気持ちを持つ。 ○進んで生活や行動にけじめを持つ。良いこと、悪いことを自分で考えて行動する。 ○園生活の中で生活に見通しを持ち、時間を意識しながら自発的に行動する。 ○生活の中で数を数えたり、足したり、引いたりしてみる。 ○健康な生活習慣について知り、いろいろな食材に興味を持つ。 ○寒さに負けず、十分に体を動かし、いろいろな運動遊びに取り組む。
みなしずか	○正しい姿勢でみなしずかをする。 ○みなしずかの意味を知る。	○正しい姿勢でみなしずかをする。 ○みなしずかの意味を理解する。	○みなしずかの意義を理解し、正しい姿勢でみなしずかをし心を落ち着かせる。	○みなしずかの意義を理解し、正しい姿勢でみなしずかをし心を落ち着かせる。	○正しい姿勢でみなしずかをし、心を落ち着かせ、その後の話が聞けるようにする。
○環境構成の要点  ★保育者のかかわり・援助	○子どもたちが自ら判断して健康で安全な生活を営めるようにし、その過程を通して年長組になった実感が持てるようにしていく。 ○のびのびと安定した気持ちで生活ができるように活動の流れに沿った時間や場を設定し、ゆとりが持てるようにする。 ○友だちとかかわる中で互いの思いや考えを共有し、一緒に工夫したり、協力したりし、充実感を持ってやり遂げる心地良さを感じられるようにする。 ☆様々な遊びの中で興味や関心、能力に応じて全身を使って活動でき、体を動かす楽しさを味わえるようにする。 ☆年長組になった喜びと不安に揺れ動く気持ちをとらえて、一人ひとりに丁寧に応じ、友だちとの遊びのきっかけが作れるよう援助する。 ☆年長組になり張り切って何かに挑戦したいと思っている気持ちや役に立ちたい気持ちを認めて、言葉や態度、具体的な活動をを通して支える。 ☆年度初めは、担任や職員の入れ替わりがあるので、職員間で、連絡を密に取り合い、子ども一人ひとりの特徴や性格、背景などを把握し、安心して園生活が送れるようにする。 ☆公共の場でのマナーに気付かせ社会とのつながりなどを理解させる。	○気候に応じて、子どもの健康に配慮した環境を構成し、子ども自身が健康に関心を持つようにする。 ○身近な自然物と触れ合う中で、自分たちの興味や疑問を追求したり、継続して成長を見守ったりすることができる環境を工夫し、生命の大切さに気付くことにつながる様々な体験ができるようにする。 ☆友だち関係を深めるために仲間になったりアイデアを提供したり、相手の気持ちを感じ取ったりできるように、状況に応じた援助をする。 ☆子ども同士の気持ちの行き違い、葛藤に十分に向き合い、子どもが自分で気持ちの切り替えができるように援助する。 ☆いろいろな遊びの中で、基本的な動きや技能を十分に経験できるように配慮し、一人ひとりの発達を理解しながら援助する。 ☆気温や湿度が高いので、室温や通風に配慮する。また水分の補給や衣服の調節に気付けるよう援助する。 ☆水遊びでは、水に十分親しませるとともに、水の危険性についても伝えていく。 ☆夏の疲れを感じるときなので、一人ひとりの休息の取り方に柔軟に対応し、夏を健康に過ごせるようにする。	○興味や活動意欲の高まりを受け止めて、十分に力を発揮できるように指導計画を策定する。 ○子どもたちと相談したり、協力したりしながら、自分たちで生活を組み立てることができるよう、十分な時間を取る。 ○一日の活動量を考慮し、心身に負担のない遊びができる環境や、休息を取れる場を作る。 ☆遊びの中で、体の様々な動きが体験できる活動が生まれるような環境の構成や援助に努める。 ☆活動意欲の高まりとともに出る競争心、達成感を認め、自信が持てるようにする。 ☆日々のさまざまな出来事について一人ひとりの気持ちに添いながら、場面や機会をとらえて内容によっては周囲の仲間へ伝えたり、クラスで考えたりする。 ☆夏休みの生活リズムを立て直し、健康で安全な園生活が送れるようにする。 ☆子ども一人ひとりの成長の様子を見逃さず、背景にあるものを踏まえながら安定して心地良く過ごせるようにしていく。 ☆遠足では、公共の場でのマナーに気付けるようにする。	○一人ひとりの活動への多様な取り組み方を受け止め、知的好奇心や探求心が満足できるように、豊かな環境を用意する。 ○自分たちで遊びに必要な場作りをし、目的に向かって考えたり工夫したりしながら充実感が持てるようにする。 ☆遊びの中で体を動かす楽しさが味わえるよう保育者も一緒に楽しみながらきっかけを作る。 ☆個々から出てきたイメージや膨らんだイメージをまとめて実現できるように援助して、自分たちで取り組んだという充実感が味わえるようにする。 ☆生活に見通しが立てられるようになった子どもたちが、自分たちで考えて進めていく活動を信頼し、実現できるように援助し、自信を持てるようにしていく。 ☆感染症予防・手洗い・うがいの大切さを伝え、健康に過ごせるようにしていく。 ☆クラスの中で一人ひとりの良さを認め合い、子ども同士のつながりがさらに深まるような援助をする。	○友だちやクラス全体で、創作や表現を楽しめるような活動を取り上げ、協力する楽しさや充実感を味わえるような機会を設けたりする。 ○自然と触れ合う機会を大切に、試したり、考えたりする楽しさを十分に味わえるよう環境を工夫する。 ○年長児として自分たちが誇りに思っやってきた役割を、年中児にわかるように伝達したり頼んだりする場を計画する。 ☆遊びの中で体を動かす楽しさが味わえるよう、保育者も一緒に取り組み、きっかけを作る。 ☆卒園までの時間を大切に、園生活を振り返り、気の合った仲間という楽しさやクラス全体がつながっている心地良さを子どもたちと共有する。 ☆互いの良さを認め合い大切に思う気持ちが持てるようにする。 ☆生活習慣が身につけているか、自分たちでできるようになっているかを見直していく。 ☆一人ひとりが自信と誇りを持って就学できるようにする。 ☆就学に向けてスムーズに小学校生活に移行できるよう園生活のリズムを整えていく。 ☆感染症予防・手洗い・うがいの大切さを伝え、健康に過ごせるようにしていく。 ☆遠足では、公共の場でのマナーに気付けるようにする。